



# せんだん

みんな なかよし みなげんき

安来市立南小学校 校長室便り  
令和4年3月17日

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/minami-es/>

## 1年間お世話になりました。

明日は9名の卒業生が旅立ちの日を迎えます。月曜日からは在校生の式練習も始まり、お世話になった6年生に感謝の気持ちが伝わるような、呼びかけ、歌声、姿勢を心がけていました。6年生も気持ちを高め、凛々しい態度で練習に臨んでいます。本番は素敵な式になることを信じています。天気予報ではあいにくの雨模様となっていますが別れを惜しむ涙雨と受け止めます。

新型コロナウイルス感染症が広がる中でも、保護者や地域の皆様のご理解とご協力によって、計画していた学校行事の多くを予定通り行うことができました。特に、6年生は昨年度宿泊研修が実施できなかった上に、予定していた9月の修学旅行も延期の指示を出されて慌てましたが、時期も場所も変更し、何とか実施できたことで安堵しました。残り5日の登校日も気を引き締め、子どもたちが1年間のいい締めくくりができるように支えていきます。

## ありがとう6年生！

### ～ 6年生を送る会 ～



2月25日に6年生を送る会を行いました。今年度はオンライン開催となり、6年生にはランチルームで各学年の発表を見てもらいました。心のこもった会になり6年生からは全ての学級にお礼のメッセージカードが贈られました。

### 「やってみよう」はどれくらいできたのかな？

1学期の始業式で子どもたちに話をしたのが、「やってみよう！」の気持ちでいろいろなことに挑戦してみようでした。2月の新入生保護者会でお伝えしたのが「転ばぬ先の杖を持たせないでください。」でした。いずれも、失敗したっていいから、それを通じて、自分の力を培ってほしいという願いがありました。

先日テレビ番組で「グーグルは360回目の挑戦でようやく今の会社の基盤を作ることができた。つまり359回失敗しても諦めずに自分たちのやっていることを信じて、試行錯誤しながら成功につながっていった。日本人にそのメンタリティーはあるのか？」とコメンテーターが言っていました。

答えのない、答えの見えない課題にぶつかった時に根気強く立ち向かって行くことができる力の基盤をこの1年間でどれだけ積み重ねていくことができたのでしょうか。

### 5年生の振り返りより

(前略) 今年度は体育館ではなく、オンラインですることになったのでとても大変でした。くす玉はできなかったけど、4年生が作ってくれたすごくきれいなたれまくをすることができたのでとてもうれしかったです。かざりつけをするときも、5年生が下学年に進んで指示をされていて良かったと思いました。(中略) 1～4年生に協力してもらい、とてもいい会になりました。かざりつけも工夫してすることができてよかったし、6年生が南小にいて良かったと思ってもらえてうれしいです。(史唯佳)

## ◇令和3年度学校評価について (保護者(47人/49家庭)より回答)

※数字は肯定的な回答(よく、どちらかといえば)をした人数の割合(%) ☆:児童への質問

○:前年比+3~6P ◎:同+6P以上 △:同-3~6P ▲:同-6P以上

めざす子ども像	<評価項目>	児童	保護者	教職員
しっかりと考えることができる子ども	勉強や宿題、自主学習をがんばっている。	▲75	○68	△89
	学校は意欲的に学習に取り組む授業を工夫している。 (☆授業はよくわかる)	88	◎96	100
	☆勉強や休み時間に進んで図書館を利用している。	58	/	/
友だちとなかよく生活する子ども	楽しく学校に行っている。	85	○93	100
	学校は、子ども達のことについて相談し適切に応じている。	85	○93	100
	☆学校には友だちがいる。	○96	/	/
	☆学校や地域であいさつをすすんでしている。	▲78	/	/
	☆時間いっぱい掃除をしている。	94	/	/
心も体も元気な子ども	学校は、子ども達が体力づくりに取り組む工夫をしている。	○86	◎83	◎100
	☆早寝・早起き・朝ごはんができています。	○85	/	/
	感染症予防対策に配慮して教育活動に取り組んでいる。	△80	◎98	94
開かれた学校づくり	地域の特色を生かした教育を行っている。	/	○89	100
	学校だよりや学級だよりは、学校や学級の様子をよく伝えている。	/	○96	100

保護者の皆様にご協力していただいた学校評価に児童・教職員の学校評価を加えたものを3月3日の第2回学校評議員会で説明し、評議員の皆様からご意見、ご感想をいただきました。

いただいたご意見や学校評価を、来年度よりよい学校経営、よりよい子どもたちの成長へとつなげていきます。ご協力ありがとうございました。

<評議員の皆様より>

○あいさつについて～地域や家庭でも人と接する機会が少ない。自分からあいさつできる子どもが少ない。子どもだけではなく大人も挨拶をしないといけない。

○ふるさと教育について～学校が主体として活動されることに地域・交流センターも協力していく。大人が手をほどこすだけではなく、子どもが主体となって苦勞をしながらも体験していく活動を進めていってほしい。

○宿題について～児童クラブなどでわからないことをなかなか受け入れられない児童がいる。宿題の出し方について学校としてどのように考えているのか児童や保護者にももう少し丁寧に説明した方がいいのではないか。

○大人と比べて子どもの評価が低い項目への受け止めと対応は？

学校:項目に対する受け止めに個人差がある。項目の精査が必要。併せて、否定的な回答をした児童については教育相談等をし、教職員全体で共通理解の上、対応をしていく。

今年1年保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき、充実した教育活動を行うことができました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願いたします。